

会場(法大外濠校舎3F)	S301教室	S302教室	S303教室
8月31日 13:10-15:10	第1セッション	第2セッション	第3セッション
	井出 明 「ダークツーリズムで歩く都市のバッファーとしての島」	鳥居享司ほか 「ナマコ資源管理による生計の変化と当該資源及び周辺環境への影響—フィジー共和国クミ村を事例に—」	中村敬子 「奄美大島の日本復帰後におけるプロテスタント諸教会」
	神田英宣 「オーストラリアの離島政策—ロードハウ連邦海洋保護区の設定—」	河合溪ほか 「太平洋島嶼における漁業活動の生態系サービスに関する研究」	楊 大為 「自己統治・実践コミュニティの視点から見る奄美大島のカトリック教会の現状—カトリック教会を事例に—」
	吉岡慎一 「島嶼地域における2次・3次交通に資する小型電動モビリティ等の導入に係る実態とその意義—五島市・姫島村・小豆島を例に—」	山本宗立 「ミクロネシア連邦チューク州ピスパネウ島における長期間にわたる食事調査結果」	高宮広土 「奄美・沖縄諸島先史時代の独自性2」
	黒沼善博 「島を活かす技術 島をつなぐ技術—資源再生から宇宙エレベーターへのフロンティア—」	小川領一 「小島嶼開発途上国と持続可能な開発目標(SDGs)—フィジー沿岸域の集落から排出される生活ごみに着目して—」	恵原義之 「奄美大島の高倉の現在と将来」
9月1日 9:30-11:30	第4セッション	第5セッション	第6セッション
	宮平盛晃 「民俗祭祀の消滅危機度の把握を目指した無形文化財レッドデータブックの構築—沖縄本島中部西原町(全24村落)を事例に—」	近藤(日)・可知 「東京の島しょでの学外体験型教養授業の取り組み—伊豆大島をフィールドとする災害現場体験実習—」	堀本雅章 「沖縄県竹富町鳩間島に架橋は必要か否か」
	横山晶子 「奄美沖永良部島における言語復興に向けた取り組み」	三田裕希 「大崎上島町における地域産業の教材開発と活用—平成27-29年度の取り組み」	前畑明美 「島々の架橋化から捉える「島嶼性」」
	小西潤子 「生態音楽学観点からみた楽器と島嶼研究」	溝田浩二 「超大型ハリケーン・イルマの襲来にキューバの人々はどうに対応したか」	野呂一仁 「島嶼地域における人口戦略と外的資源の導入」
	熊・桑原 「沖縄やんばる地域のエコツーリズムに関する比較研究」	大塚 靖 「ミクロネシアでのデング熱およびジカ熱対策について」	西村・萩野 「諏訪之瀬島における「ターナー定着要因としての「多様性」」

9月1日 12:40-14:40		第7セッション	第8セッション
	花淵馨也 「ディアスポラ・コモリエンヌによる海外送金と家族戦略」	長嶋俊介 「日本から本土・本州を捉え直す;ネシア論は超列島・脱中央の視座」	
	尾立要子 「ジャン＝マリ・チバウ暗殺の波紋:エメ・セゼールの追悼詩から」	大里知子 「「南方」「南洋」進出と小笠原・沖縄—第二回小笠原島紹介展覧会(1935)をめぐる」	
	高橋美野梨 「EUの「鯨類の生と死に対する管理」が先住民生存捕鯨に与える政治的含意:グリーンランドを事例にして」	高江洲昌哉 「近現代日本の「移動と自治」—小笠原を事例にして—」	
	季 慶芝 「膠東半島における伝統的な漁民文化の衰退と再興—煙台市初旺村を事例に—」	俵 寛司 「帝国と島の考古学—対馬、壱岐、沖ノ島、鷹島」	
9月1日 15:00-17:00		第9セッション	第10セッション
	小寺・矢巻 「長崎県壱岐島における水環境について」	對馬秀子 「古文書からみえる八丈島の移民史—画期となる人物を中心に」	
	矢巻・小寺 「長崎県平戸諸島における水環境について」	前利 潔 「奄美返還とは何だったのか」	
	笠井・近藤(晶) 「雨水活用による五島列島—赤島活性化プロジェクト」	宋 多情 「奄美・沖縄の世界自然遺産登録延期勧告と現時点での課題—奄美大島での事例を中心に—」	
	池田忠徳 「奄振と公共事業—下水道事業を事例に—」		